

会 議 録

会 議 名	令和5年度第3回東松山市文化財保護委員会議					
開 催 日 時	令和6年3月15日（金）			開 会	午前13時30分	
				閉 会	午前15時30分	
開 催 場 所	東松山市総合会館3階 303会議室					
会 議 次 第	1. 開会 2. あいさつ 3. 議題 (1) 令和5年度事業報告について (2) 令和6年度事業計画（案）について (3) 東松山市文化財保存活用地域計画について 報告 4. その他 5. 閉会					
公開・非公開の別	公開	傍 聴 者 数		0人		
非公開の理由 (非公開の場合)						
委員出欠状況	委員長	小澤 謙一	出席	委 員	栗原 直子	出席
	副委員長	小澤 弘	出席	委 員	林 龍生	欠席
	委 員	荒井 豊	出席	委 員	柳 正博	出席
	委 員	内田 博	出席			
事 務 局	田島 信子 生涯学習部次長			矢口 翔馬 埋蔵文化財センター主任		
	上 敏文 生涯学習課課長					
	佐藤 幸恵 埋蔵文化財センター所長					

次 第	顛 末
1. 開 会	佐藤所長
2. あいさつ	小澤謙一委員長
会議の公開、 会議録署名 委員の指名	<p>○会議の公開、傍聴人、会議録署名委員の指名について （佐藤所長）会議を公開とするか非公開とするか、傍聴人の申込みがなかったこと、会議録の署名委員を指名することについて、説明。</p> <p>・会議については公開、傍聴人は申込がなかった。会議録署名委員は小澤弘副委員長と内田博委員を指名することについて、全員了承。</p>
3. 議 題	<p>（1）令和5年度事業報告について</p> <p>●文化財啓発事業 （矢口主任）説明。 （小澤弘副委員長）広報紙の連載企画おしえて文化財にて、3月号で木造阿弥陀如来座像が紹介されていたが、榎本榮一文化財専門調査員による新たな知見である、銘文の「修理」の解釈について早速に説明されていた。非常に高く評価したい。</p> <p>●文化財保存事業 （矢口主任）説明。 （小澤謙一委員長）文化財パトロールについては年で何回など回数を決めているのか。高坂館跡の土塁については土の流出を土嚢で防ぐ緊急対応を行ったが、先日現地を見たらまた土が流れている様子も見えた。リュウノヒゲや芝などの植物を植えてもなかなか活着しないということで、特に高坂館跡の土塁については砂利混じりの土であることもあってなおその傾向は強い。経過観察が必要で、文化財パトロールで専門調査員さんに見てもらってればそういった報告もあるのではないか。</p> <p>（矢口主任）文化財パトロールについては回数を定めていない。例えばカタクリの群生地のような文化財は、開花時期などに複数回確認が必要なものもあり、その文化財の性質によって柔軟にご対応いただいている。高坂館跡に限らず、樹木を伐採した後の土塁や古墳の土の保護には大変苦慮している。抜本的な解決のためには史跡整備を行うほかないが、整備のためには様々なハードルがあって時間もかかる。整備に向けて進めるにしてもやれることは時を待たずに行っていく必要があると思っていて、坂野専門調査員が考古学のご専門なので適宜お知恵をいただいたり、あるいは高坂</p>

館跡については榎本榮一専門調査員がご近所とのことで、適宜報告をくださったりしている。

● 文化財調査事業

(矢口主任) 説明。

(小澤弘副委員長) 大西遺跡の発掘調査はどういった理由で行われるのか。土地所有者からの依頼か。

(矢口主任) 自己専用住宅建設に伴うもので、建て主からの依頼に基づいて実施している。

● 埋蔵文化財センター運営事業

(矢口主任) 説明。

以上質疑なし。承認。

(2) 令和6年度事業計画(案)について

(矢口主任) 説明。

(柳委員) 東松山市民俗芸能大会について、どの団体が出演するのは今後決めていくのか。先日たこつき唄保存会の会長にお会いすることがあり、高齢化に伴い開催が難しくなっているとのことであった。機械化に伴って土手普請のたこつき唄そのものが実生活と乖離している面はあるが、だからこそ貴重な民俗文化なので、何とか後世に伝えていきたい。

(矢口主任) 東松山市民俗芸能大会については、たこつき唄含め、東松山市民俗芸能保存連絡協議会に加盟している13団体すべてに出演をお願いする予定である。ただ実際問題として出演が難しい団体もあると想定している。それでもお願いするのは、たこつき唄のように継続が難しい団体さんにとって、この大会を一つのモチベーションとして継続や再開に向けた機運を高めていきたい狙いがある。

(柳委員) 例えば解説書などがあれば、仮に出られなくても紹介することはできる。

(矢口主任) 数年前に東松山市民俗芸能保存連絡協議会で作成した冊子の中で全団体の活動や歴史を紹介しており、それらを活用しながらパンフレットを作成する。

(柳委員) この件は東松山市民俗芸能保存連絡協議会に話をしているのか。

(矢口主任) 理事の皆さんには開催したい旨を簡単に説明しており、具体的な内容や今後の予定などは18日開催の同会理事会にて説明する予定。

(柳委員) たこつき唄の会長さんはかつて市で作成した動画を見ながら勉強したいと前向きだった。

(矢口主任) 市で作成した動画は市公式ホームページで見られるように公開しているが、現状は文化財指定を受けた民俗芸能に限定している。今後はたこつき唄のような未指定の無形民俗文化財についても公開するよう、準備を進めていく。

(小澤弘副委員長) 埋蔵文化財センターのネットワーク環境整備について、クラウドの利用料は年々上がっていく傾向にあるので注意が必要。またパソコンのスペックはできるだけ高性能で最新のものを使うように留意すること。常に新しいウイルスが侵入してくるリスクがあるので、少なくとも5年ごとには変える必要がある。リースなどもあるがかえって高くつくこともあるので注意が必要。バックアップ体制も充実させる必要があり、常時バックアップするものと、定期的にバックアップするものといったシステム構築が理想で、保存用のハードディスクも3年から5年で交換する必要がある。大切なデータを保管するので、ウイルス対策ソフトも含め、こういった予算を計画的に確保すること。

(矢口主任) 導入後の更新についても計画的に進めていく。

(栗原委員) 比企地区巡回文化財展について、テーマは縄文時代ということだが、東松山市の縄文時代の特徴としてどういったものを紹介するのか。

(矢口主任) 東松山市には草創期を除くすべての時期の遺跡がある。代表的な遺跡として雉子山遺跡や茅場・羽黒遺跡などがあるが、各期に特徴的な遺物があるのが特徴で、そういった点を踏まえて他市町村と協議していく。展示会のテーマは縄文時代だが、縄文時代の通史を紹介するのか、縄文土器を紹介するのかなど、展示の内容は今後協議会の中で決めていくことになり、それに即した資料を紹介していく。

以上質疑なし。承認。

(3) 東松山市文化財保存活用地域計画協議会について

(矢口主任) 説明。※1月に保護委員に原案の意見聴取をしており、それ以降パブリックコメントや文化庁協議、庁内意見聴取の結果をうけて変更した点について意見聴取。また文化庁認定までの予定について説明。

(柳委員) 上岡観音の絵馬市の習俗については記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財に選択されているが、「国の」ということが大切なので、

	<p>文中に追記すること。また絵馬市は選択を受けて報告書を刊行しているが、巻末資料の中に見受けられない。確認し、ない場合は追加したほうがよい。</p> <p>(荒井委員) 地質に関する図面の出典にもなっている「埼玉県東松山市の地質」についても巻末資料の中に追記すること。</p> <p>(小澤謙一委員長)「飲食会(直会)」との記載があるが、本来は「直会(飲食会)」の記載が適切ではないか。</p> <p>(矢口主任) 指摘を受けた箇所は確認し、修正する。</p> <p>以上質疑なし。承認。</p> <p>報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「箭弓稲荷神社本殿・幣殿・拝殿」について ・「おくま山古墳」について
4. その他	なし
5. 閉会	田島次長
<p>上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。</p> <p>令和 6年 3月26日 署名委員 <u> 小澤 弘 </u></p> <p style="text-align: right;">署名委員 <u> 内田 博 </u></p>	